

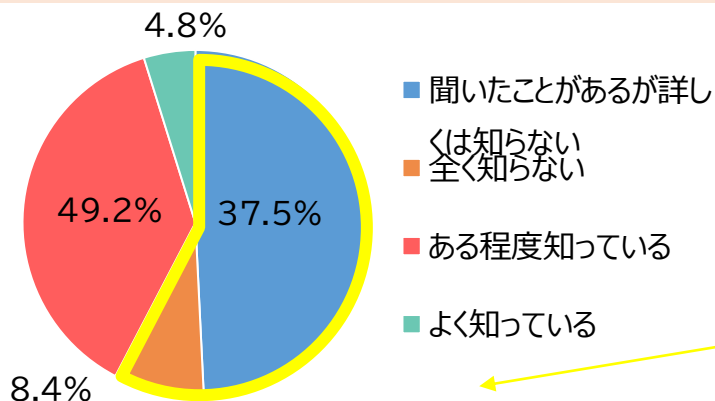
診断ツール「キヅコ（KiduCO2）」のご紹介

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
経営支援部 企業支援課
令和8年4月22日

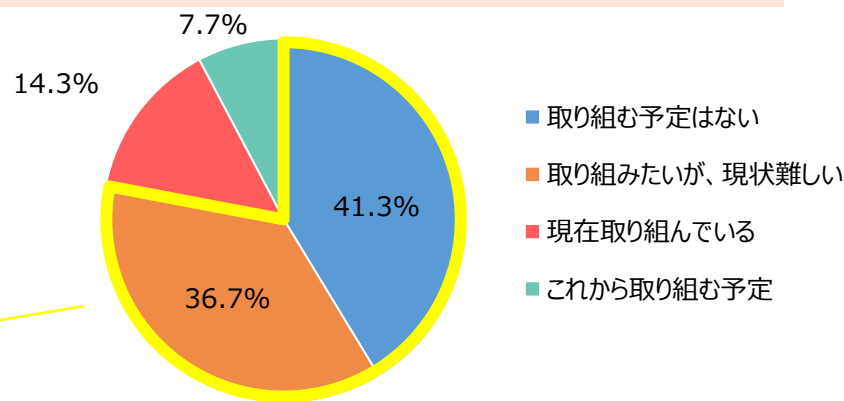
1. 開発背景/カーボンニュートラルに関する中小企業の現状

- ① 中小企業のカーボンニュートラル（以下、CN）に関する認知・取り組み状況を把握するため、調査を実施。（令和7年11月～12月 帝国データバンクへ委託）
- ② 「詳しく知らない」「全く知らない」と回答した企業が約半数、「取り組む予定はない」「取り組みたいが現状難しい」とする企業も7割を超えている。
- ③ 取り組みが進んでいない企業の約4割は、「何から始めたらよいかわからない」「他に優先すべき経営課題がある」と回答。

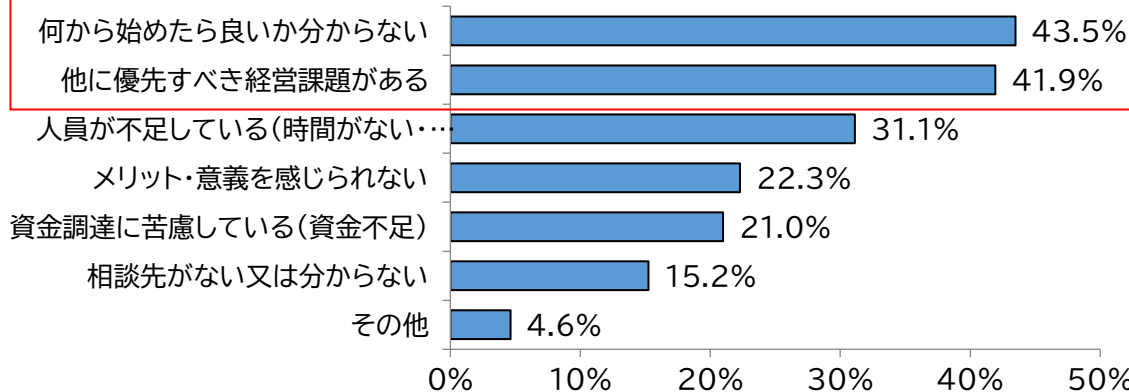
Q1. CNについてどの程度ご存じですか？（単一回答）



Q3. CNへの取組状況を教えてください。（単一回答）



Q3-4, 【取り組む予定はない、取り組みたいが、現状難しいと回答した企業に対して】CNに取り組めていない、または取り組まない理由があれば教えてください。（複数回答可）



■ 調査の基本情報

1. 調査手法：WEB
2. 調査対象：中小企業（2,600件）
3. 回答数：581件（回答率22.3%）



1. ツール名称

キヅコ (KiduCO₂) ～リスクに気づこう、未来を築こう～
Key Navigator for reducing CO₂ emissions



2. 目的

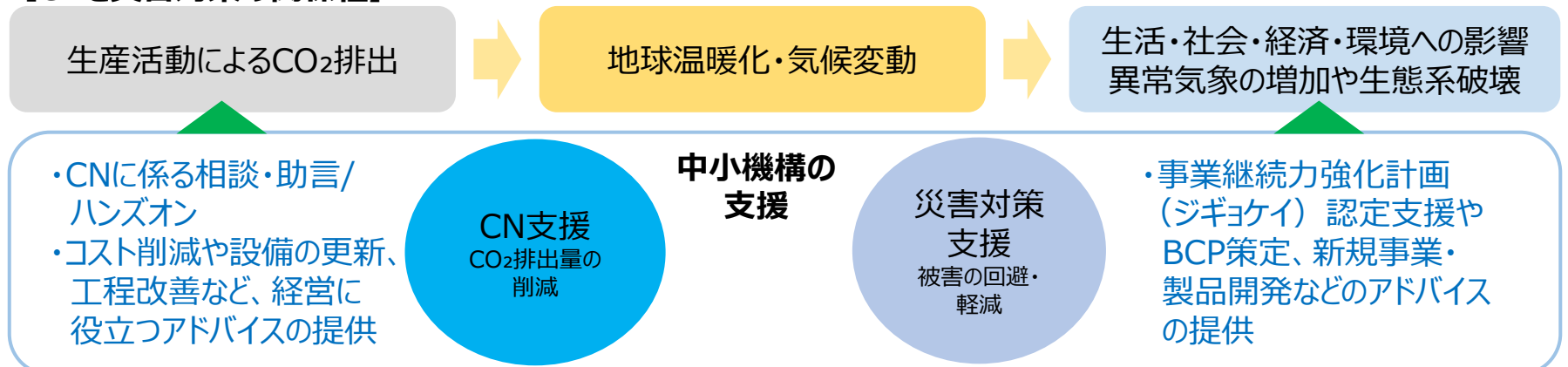
政府が掲げる2050年CNの実現や気候変動に伴う災害の激甚化を背景に、中小企業においても脱炭素への対応や災害リスクへの備えが経営上の重要な課題となっています。しかし、前頁に記載の通り、関心がない、必要性がない、優先度が低いと考えている企業もいらっしゃいます。

そこで、**CNに対する意識を高め、具体的な取り組みをさらに支援していくため**、取り組む必要性や対応しないと何が起こり得るかを知ってもらうためのツールを開発しました。

3. 内容

- 気候変動に着目し、**緩和策としてのCN、適応策としての災害対策**について、自社の取り組み状況を簡単にチェックできる診断ツール。
 - 設問は**4つ（知る・測る・減らす・備える）**で構成。
 - 回答内容に応じて、今後事業に生じ得るリスクを表示。
 - 診断結果をもとに、中小機構の専門家による相談窓口等、適切な支援施策・ツールをご案内。
- **会社の今とこれからの“気づく”ためのチェックツール**です。

【CNと災害対策の関係性】



3-1.診断画面

診断の流れ

年々、異常気象の影響が増えていると感じませんか？中小機構の診断ツール

KiduCO₂ (キツコ) で、カーボンニュートラルの活動状況や事業に潜むリスクを知ろう！



診断を始める >

①TOPページ

②ツールの構成についての説明

4つの設問に答えるだけで、貴社の対応状況を簡単チェック！

設問に答えることで、貴社のカーボンニュートラル対応状況が4つのステージのいずれかに分類されます。各ステージでは、実務活動による事業リスクと、今後の取り組みのヒントをご紹介します。

あなたの会社は 知るステージ 省エネやカーボンニュートラルをもっと知るここから始めてみましょう	あなたの会社は 知るステージ 貴社の活動やサービスに関わるCO ₂ 排出量を測定しましょう
あなたの会社は 減らすステージ CO ₂ の排出量を具体的に減らす取り組みを実施しましょう	あなたの会社は 備えるステージ 大きな災害が発生した場合に備えて対策を実施しましょう

③基本情報を入力

またる業種を選択してください

選択してください

従業員数を選択してください

選択してください

勤務先所在地を選択してください

選択してください

異常な地震や大規模による災害で会社が影響を受けたことがありますか？

選択してください

気候変動が進むことで災害による影響や経営環境の変化が懸念されます。会社として、省エネやカーボンニュートラルに取り組んでいますか？

選択してください

次の質問 >

④4つのステップで設問に回答

省エネやカーボンニュートラルへの理解

知る

- 省エネや脱炭素でコストが下がった企業の事例を聞いたことがある
- 取引先からCO₂の排出量の計算や削減、環境認証制度について問い合わせを受けたことがある
- カーボンニュートラルに取り組むことで、新規事業展開や販路拡大に繋がれることを知っている

エネルギー使用量やCO₂排出量の現状把握

測る

- 自社の電気・ガス・燃料などの使用料を把握している
- 測定器などを使ってエネルギー使用量を計測・見える化している
- 過去の光熱費データを使って消費傾向を確認・比較している

エネルギー使用量やCO₂排出量の削減

減らす

- 省エネやCO₂排出量削減に向けた実行計画がある
- 太陽光発電（自家消費）などの再生可能エネルギーを導入している

災害への対策

備える

- ハザードマップ等で事業活動に影響を与える自然災害等の想定を行っている
- 自然災害等の発生による従業員やその家族など人員への影響を想定している
- 自然災害等の発生による建物・設備への影響を想定している
- 自然災害等の発生による被害額や補償、資金繰りへの影響を想定している
- 生産や営業等に関する重要な情報の紛失や消失など情報管理への影響を想定している
- 当てはまるものがない

3-2.診断画面

⑤結果ページ

取り組み状況を診断し、事業に潜むリスクを表示
結果に応じた施策をナビゲート

総合結果

あなたの会社は
測るステージ

あなたの製品やサービスに関わるCO₂排出量を測定しましょう

カーボンニュートラル相談窓口
カーボンニュートラル・脱炭素に関する相談について、経験豊富な専門家がアドバイスいたします。無料で何度でもご利用が可能です！

省エネセルフ診断ツール
CO₂排出量の計算や省エネポテンシャルなどを簡単に診断できます。

shindan-net.jp

詳細スコア

省エネやカーボンニュートラルを取り巻く環境への理解 20/20

エネルギーと排出量の現状把握 0/20

具体的な削減や投資の計画 0/20

災害リスクへの対策 0/20

既に省エネやカーボンニュートラルに関心をお持ちですね。気候変動が進めば事業に少なからず影響を与えます。今後は下記のような事業リスクを想定し、具体的に取り組みを進めていきましょう。

取引機会の損失
カーボンニュートラルに取り組まないことで、積極的に取り組む企業と比べて製品やサービスの評価が低下したり、入札参加資格に制限がかかるなど取引に影響を与えるおそれがあります。

コスト上昇
化石燃料価格（炭素税負担）で原材料や生産コストが上昇し、販売や取引に影響を与える可能性があります。

ブランド力の低下
環境意識の高い消費者から敬遠されたり、人材確保の面で不利になる可能性があります。

自然災害の多発・大規模化
このまま温暖化が進めば、ゲリラ豪雨や洪水、土砂崩れなど大規模な災害が増え、生産停止や物流の混乱などの恐れがあります。

もっと知る

近年、取引先からCO₂排出量について問い合わせを寄せたという相談が増えてきました。排出量がおければ、他社との差別化や競争へのアピールとしても有効です。また、省エネ活動はコストダウンを通じた経営改善とカーボンニュートラルにもつながります。省エネセルフ診断ツールや相談窓口の利用をお願いします。

<総合結果>

- 4つのステージのうち、どちらに該当するのかを表示します。
 - ステージに合わせたおすすめのコツをお案内します。
- 「測る」ステージの場合、CO₂排出量の見える化等に向けて活用できる相談窓口やツールにお繋ぎします。

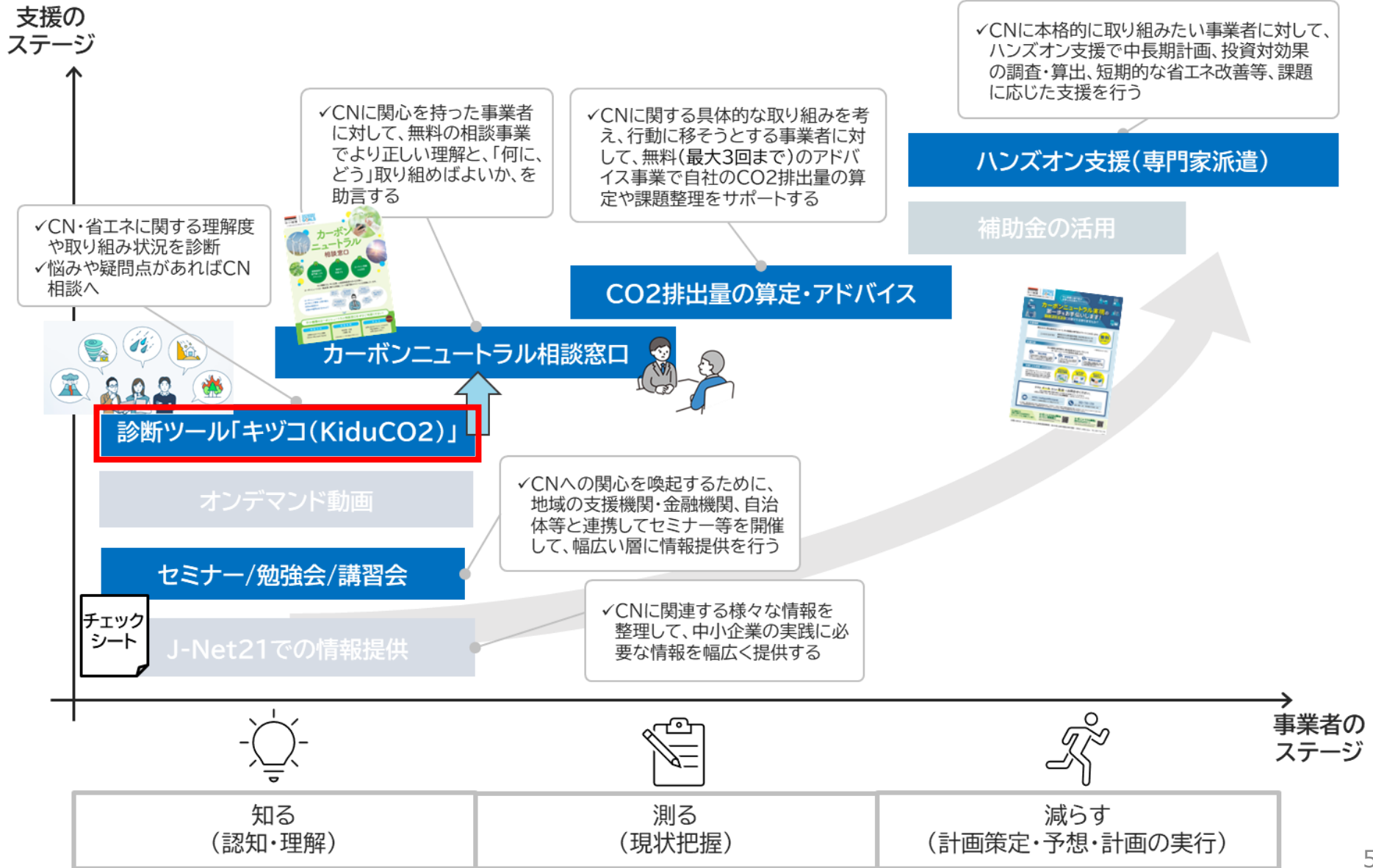
- 設問ごとの詳細スコアを表示します。

- 今後自社に生じうる**事業リスク**を表示します。
- **事例を掲載**しているので、他社の取り組みもご確認いただけます。

【特徴】

- ✓ **無料**でご利用可能！
- ✓ 文字入力なしで**簡単操作**！
- ✓ 結果に応じて**適切な窓口・ツール**をお案内！
(結果を踏まえてすぐに行動に移せます！)





(ご参考) 中小機構カーボンニュートラル相談窓口

中小企業・小規模事業者に向けて、カーボンニュートラルや脱炭素化に関する無料の相談窓口を開設しています。

相談窓口の概要

- 場所：北海道本部、東北本部、関東本部、中部本部
近畿本部、北陸本部、中国本部、四国本部、九州本部、沖縄事務所
(対面またはオンライン) ※オンラインのみの地域本部もございます。
- 費用：無料
- 申込方法：HPからお申込みください。
- 「中小機構 カーボンニュートラル」で検索！
<https://www.smrj.go.jp/sme/consulting/sdgs/favgos000001to2v.html>



【特徴】

- ✓ **無料で何度でも**ご利用可能！
- ✓ **全国各地**でご相談いただけます！
- ✓ 経験豊富な**専門家**がお悩みにお答えします！



(ご参考) 相談窓口に寄せられた相談内容

知る

- CNへの具体的な取り組みとして、何から始めたら良いか教えてほしい。
- CNに関する認証にはどのようなものがあるか理解したい。
- 大手の取引先よりScope 1, 2の削減目標の報告要請があった。どのように対応すれば良いか。

測る

- Scope 1, 2のCO₂排出量を計算する手法を知りたい。
- 基準年の設定、目標値の策定はどのようにすれば良いのか。

減らす

- 燃料費が高騰しているため、省エネコスト削減への取り組みを相談したい。
- CO₂排出量の削減について、計画策定及び推進の方法を知りたい。
- 設備更新に使える補助金はどのようなものがあるか。

深化する※

- CO₂排出量Scope3への取り組み方法、具体的な事例を知りたい。
- CFPの算定方法について教えてほしい。
- 自社製品の販売方法、PRをどのように行えばよいか。
- J-クレジットについて、具体的な内容と活用方法を知りたい。

※一般的な取り組みのステップの「知る」「測る」「減らす」に加え、その先の取り組み等を独自に「深化する」に分類しています。